

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法 I Community Development I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士受験資格指定科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
1年次必修科目の修得				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9:00~17:00		授業中に指示します
授業の概要				
社会福祉基礎構造改革や社会福祉法の施行により、今後の社会福祉の原点は地域福祉にあるとされ、法的にも位置づけられている。少子高齢社会が進む現代社会において地域福祉の推進は重要であり、社会福祉の専門職である社会福祉士の担う役割は大きいといえる。本科目では、地域福祉を理解するために、地域福祉の基本的な考え方・歴史的発展過程・理念と概念・社会福祉サービス等を学習する。				
授業の目標				
①地域福祉の領域や対象を説明できるようにする。 ②地域福祉の発展過程を通して、地域福祉の重要性を説明できるようにする。 ③社会福祉サービスと地域生活をつなげて捉えることができるようにする。 ④地域福祉推進に必要な諸活動を概説できるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。またほぼ毎回の授業において小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。				
学習の成果(学習成果)				
地域福祉の意義と機能に関する概要についてその概要を述べることができ、社会福祉士の専門性につなげて体系化することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスにそって)、地域福祉とは 小テスト			
第2回目	地域福祉の自立とは、地域福祉とコミュニティケア 小テスト			
第3回目	社会福祉基礎構造改革、地域分権化、ボランティアズム 小テスト			
第4回目	イギリスのコミュニティーケア改革、日本の地域福祉の発展過) 小テスト			
第5回目	日本における人権問題、虐待 小テスト			
第6回目	権利擁護と地域生活 小テスト			

第7回目	サロン活動と自立生活支援事業 小テスト
第8回目	地域福祉計画と地域福祉活動計画 小テスト
第9回目	つながりを作る活動の発表①（発表）
第10回目	つながりを作る活動の発表②（発表）
第11回目	居宅サービスおよび関連サービスと地域生活 小テスト
第12回目	施設サービスと地域生活 小テスト
第13回目	地域保健・生涯学習 小テスト
第14回目	地域福祉の財源 小テスト
第15回目	まとめ（地域福祉の歴史・理念・ケアの実際を概観する） レポート

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	10%	まとめレポート（地域福祉の歴史・理念・ケアの実際を概観する）10%
調査報告書		
小テスト	78%	2～15回は、知識の定着を図る穴埋め問題（15問程度）を出します。6%×13回＝78%。
試験		
発表内容（態度含む）	12%	「つながりをつくる」活動を調べ、パワーポイントにまとめる。第9、10回目の授業で発表する。内容7%、発表態度5%。
その他		

教科書と参考図書

教科書：やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ 「よくわかる地域福祉第5版」 ミネルヴァ書房

履修上の留意点・ルール

テレビのニュースや新聞記事等から、日常生活における社会問題に関心をもってほしい。社会福祉士としての視点から地域福祉を捉えてほしい。